

---

GlobalFlow5 1.00R08.12

リリースノート

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

2007年12月27日

---

製品情報

=====

バージョン : Ver.1.00R08.12

---

=== 変更内容 ===

=====

※GlobalDoc5のご利用が必須の変更内容には、項目本文の末尾に「※」を付加しています。

---

機能拡張

■Web アプリケーション

- ・ 経路の分岐条件に、“文字型”または“数値型”を選択するラジオボタンを追加し、分岐条件として判別できるようになりました。
- ・ 宛先一括設定画面の Doc 保存アクティビティの設定で、通知先を編集できるようになりました。※
- ・ 書類の注釈入力に、GlobalDoc5 の固定書式が利用できるようになりました。※
- ・ 帳票簡易編集機能で部品に必須入力を設定した場合、起案時の必須項目か、承認時の必須項目かを設定できるようになりました。
- ・ 帳票簡易編集機能で固定テキストの項目に URL を入力した場合、書類画面に URL がリンク表示されるようになりました。
- ・ 帳票簡易編集機能で起案者情報、承認者情報の情報種別に役職を指定できるようになりました。
- ・ 保存した簡易帳票ファイルを帳票簡易編集機能に取り込めるようになりました。
- ・ 承認アクティビティで、否認時の差し戻し先に「起案者と直前者」を指定できるようになりました。

## ■サーバーツール

- ・ テンプレート、プロセスに、有効期限(終了日)を指定できるようになりました。
- ・ テンプレート、プロセスのセキュリティで、管理権に任意のユーザーを設定できるようになりました。

---

## □仕様変更

---

## ■Web アプリケーション

- ・ 保存文書一覧の保存者名を表示していた列に、書類の起案者名を表示するようになりました。※
- ・ 書類を一時保存している場合、書類一覧の処理状況に「保留中」と表示するようになりました。
- ・ 書類を一括承認、または一括否認したあと、結果一覧画面上に表示されるエラーメッセージ以下のように変更しました。
  - ・ 処理中の場合: 現在、書類が処理中のため[ユーザー名 部署/役職]
  - ・ 保留中の場合: 現在、書類が保留中のため[ユーザー名 部署/役職]
- ・ 一括承認処理で、処理中などの理由によってエラーにが発生した場合、処理結果の一覧画面にエラー内容を複数行で表示するようになりました。
- ・ Doc 保存アクティビティが設定された書類を起案・承認するときに、保存先フォルダーが削除されていた場合、「保存先が削除されています。」というメッセージを表示するようになりました。※
- ・ 保留中の書類を別のユーザーが参照した場合、「この書類は現在、XX さんによって保留中のため処理はできません。」というメッセージを表示するようになりました。
- ・ 書類監視権限を持つユーザーが管理メニューから書類を参照した場合、完了した書類でも経路編集ができるようになりました。
- ・ テンプレート管理画面の「リンクするプロセス」からプロセス管理画面を開いた場合、テンプレートを更新してもプロセス管理画面が閉じないようになりました。
- ・ プロセス管理画面の「リンクするテンプレート」からテンプレート管理画面を開いた場合、プロセス管理画面を閉じても、テンプレート管理画面が閉じないようになりました。

- テンプレート、またはプロセスのインポート時に、エラーが発生しても取り込み可能な設定項目に関しては取り込めるようになりました。
- 起案時に変更可能なアクティビティが無い場合、宛先一括設定画面は表示させず、起案画面を表示するようになりました。
- 管理メニューの書類一覧表示で、宛先が複数宛のとき、書類が1つだけ表示されるようになりました。
- Doc 保存アクティビティの保存先が設定、または変更された場合、保存先の階層をリスト表示し、プロセスの更新後に新しい階層情報が表示されるようになりました。※
- 承認アクティビティの「代理承認の際の押印」のデフォルト選択項目が「代理者」になりました。
- Doc 保存アクティビティの「保存の実行者」に指定されてるユーザーが存在しない場合、テンプレートの管理権限のセキュリティを持つユーザーで保存処理を実行するようになりました。※
- 帳票簡易編集機能の入力タイプが「起案者情報」で情報種別を非表示にしたとき、名称を設定する欄も非表示となるように変更しました。
- 帳票簡易編集機能の所属グループを設定するチェックボックスの表示場所を、情報種別のプルダウンメニューの下に変更しました。
- 帳票簡易編集機能の「入力タイプ」で‘自動発番’、‘書類番号’、‘起案者情報’、‘承認者情報’を選択した場合、「入力設定」が入力不可でも、「CSV 出力」が設定できるようになりました。
- テンプレートとプロセスの名称が変更されていても、管理メニューの絞込条件で関連する書類を検索できるようになりました。
- 印刷設定のオプションで、書類名と本文がデフォルトの選択項目になりました。
- 保留中の書類を開いたときの処理中メッセージで、他ユーザーが書類を参照中であるか一時保存中であるかの区別ができるようになりました。
- 承認依頼メールの URL から承認した場合、処理が終了したことと自分宛の書類件数が表示されるようになりました。
- 一括承認がエラーになったとき、処理結果一覧画面もエラー内容が複数行表示されるようになりました。

- 承認アクティビティの設定で、「直前の承認者による承認者の変更」が「許可する」に設定されている場合、自アクティビティより前のすべての承認アクティビティが、更新可能なアクティビティに設定されるようになりました。
- StraformX を使用した帳票の印刷で、Doc 保存された書類の“印刷(帳票専用)”から印刷イメージを表示するようになりました。

#### ■サーバーツール

- 移行ツールでプロセスを移行する場合、セキュリティの管理権に所属グループのプロセス管理者を設定するようになりました。
- 移行ツールでテンプレートを移行する場合、9 桁で移行していた書類番号の桁数を 8 桁に変更しました。
- Global4 でテンプレートにある設定が GlobalFlow5 ではプロセスの設定になっているものに関して、一つのプロセスに複数のテンプレートがリンクされている場合は、複数のテンプレートの設定値を確認して、すべて同じ値であればその設定値で移行し、異なる値が存在した場合は GlobalFlow5 のデフォルト値で移行するようになりました。
- グループ所属のプロセスを移行する場合、所属するグループのプロセス管理者、グループ管理者をセキュリティの管理権に設定するようになりました。

---

#### □不具合修正

---

#### ■Web アプリケーション

- 終了書類一覧から再起案した場合、帳票内の項目に「GFLOW-COPY="0"」が設定されていても入力値が複写されない不具合を修正しました。
- 承認アクティビティの設定で「直前者の承認を許可しない」、または「承認者が存在しない場合にエラーにする」に設定していて、かつ宛先が未設定の場合でも起案できる不具合を修正しました。
- 独自タグの「GFLOW-APPROVALACTIVITY」に指定する value 値が不正な場合、対象の承認アクティビティに宛先が設定されない不具合を修正しました。
- Doc 保存アクティビティで「保存の実行者」を指定ユーザーにしている場合、Doc 保存アクティビティ編集画面を表示すると、JavaScript エラーが発生する不具合を修正しました。※

- 呼び戻し不可の書類を参照可能なユーザーが「回付中/終了」の書類一覧から開くと、承認者が承認できなくなる不具合を修正しました。
- 印刷画面で、テキストボックスなどの帳票内の項目が、編集可能になっている不具合を修正しました。
- プライベート設定のフォルダーに Doc 保存した場合、プライベート文書として登録されない不具合を修正しました。※
- 添付ファイルのサイズが 0(ゼロ)byte となる場合がある不具合を修正しました。
- テンプレートのインポートで、「保存文書/終了書類の本文データ」を利用するに設定し、「保存文書/終了書類の添付ファイル」を利用しないに設定していても、本文データ、添付ファイルともに「利用する」が選択された状態でインポートされる不具合を修正しました。
- 宛先一括設定画面のアクティビティの並び順と、経路編集画面で設定したアクティビティの並び順が、一致しない場合がある不具合を修正しました。
- ファイルが複数添付された書類で、添付ファイルの編集や追加、削除を実行して承認すると、編集したファイルの内容が別のファイルの内容で書き換わる不具合を修正しました。
- リンクするテンプレート、プロセスから複写画面を表示した場合、カテゴリが引き継がれない不具合を修正しました。
- テンプレート、またはプロセスを複写するとき、カテゴリに入力した文字列が文字化けする不具合を修正しました。
- 帳票簡易編集機能で、入力制限を「許可する」に設定し、「必須入力」とした場合、許可したアクティビティに回付された状態で否認すると、否認ができない不具合を修正しました。
- 帳票簡易編集機能で作成した帳票に、ラジオボタンとチェックボックスの部品が使用されている場合、ラジオボタンとチェックボックスの入力制御と必須チェックの処理が異なる不具合を修正しました。
- 督促メールを送信する対象の書類が 1000 件以上のとき、督促メールが送信されない不具合を修正しました。
- 督促メール処理を起動する時間が「比較処理」で、日付フォーマットに「MM/DD/YY 形式」を指定した場合、日付変換処理に失敗して督促メール処理が起動されない不具合を修正しました。

- メール送信アクティビティで、アーカイブ形式でデータを送付したとき、帳票内のプルダウンで何も選択されていない項目に「null」と表示される不具合を修正しました。
- 管理メニューの停滞書類などから書類を開いて催促メールを発信すると、処理ユーザーが書類を開いている状態になる不具合を修正しました。
- 書類、テンプレート、プロセスのシステム履歴が正常に出力されない不具合を修正しました。
- 書類を強制否認した場合、処理ユーザーが書類を開いている状態になる不具合を修正しました。
- 再起案時に添付ファイルの編集をした書類を承認すると、ファイルが消えてしまう不具合を修正しました。
- 承認アクティビティの宛先が未設定のプロセスを複写したとき、エラーが発生する不具合を修正しました。
- 「AND 制御」が設定されている分岐ゲートウェイと結合ゲートウェイを使用しているプロセスで、結合後の承認者に宛先が設定されていない場合、分岐前の承認者が承認できない不具合を修正しました。
- 保存文書/終了書類一覧で、保存先フォルダー内の文書一覧を表示するとき、フォルダー内に情報参照権限しかない文書が存在すると、「文書に対するセキュリティ違反がありました。」というエラーが発生し、文書参照権限のある書類も一覧に表示されない不具合を修正しました。
- エクスポートしたテンプレートをインポートすると、8桁に設定した「書類番号」、「自動発番」が9桁になる不具合を修正しました。
- エクスポートしたテンプレートをインポートすると、セキュリティ違反のエラーが発生してインポートできない不具合を修正しました。
- Global4の帳票簡易編集機能からエクスポートしたdatファイルを、Global5の帳票簡易編集機能にインポートしたとき、複数テキストエリアで空欄の項目名に「null」という文字が設定される場合がある不具合を修正しました。
- 管理メニューの削除書類一覧に表示される書類が、参照できない不具合を修正しました。
- 起案時に、宛先一括設定画面で[設定]ボタンをクリックと、「プロセスが更新されています。」というメッセージが表示する不具合を修正しました。
- 承認アクティビティで、「承認者が存在しない場合の処理をスキップする」に設定している場合でも、起案処理でエラーにならないように修正しました。

## ■サーバーツール

- 移行ツールで、分岐条件に複数の入れ子が存在するプロセスを移行すると、エラーとなる不具合を修正しました。
- 移行ツールで、メールインスタンスの宛先が未設定のデータを移行すると、エラーとなる不具合を修正しました。
- プロセスにリンクするテンプレートの情報と、テンプレート設定「保存文書参照セキュリティ」の「セキュリティ内容」を同じ内容で設定しても、移行データ出力ツールを実行すると、差異項目のログに出力される不具合を修正しました。

=====